

市民による企画カタログ「香南まるごと旨市」

○石塚悟史（高知大学）、橋詰徹（株式会社イノベーションマネジメントコンサルティング）、久武正則、前川浩文（香南市）、岡崎広充、山本真希、野村則之（香南市地域雇用創造協議会）、楠瀬雅教、國吉光孝、黒瀬弘子（香南市観光協会）

高知県香南市には、県下でも知名度の高い「一次産物」「歴史・文化」「自然」「観光」などの「地域資源」が数多く存在している。その中でも特に「山北みかん」「にら」「メロン」「しらす」など、香南市を代表する優れた産品がたくさんあるものの、県外の方々に周知されているわけではない。また、隠れた産品も数多く存在する。そこで、香南市では全国に通用するような優良な地域産品を「香南ブランド」として認定し、香南市の食や観光などの魅力を全国に情報発信することにより、交流人口の増加や地域の活性化に繋げていくことを目指している。これを実現するため、平成20年度からの厚生労働省の「地域雇用創造推進事業」及び「地域雇用創造実現事業」、平成22年度からの高知県の「ふるさと雇用再生特別基金事業」において、産学官民連携（地元企業、高知大学、香南市、地元市民）による1年に2回のハレの日に焦点を合わせた中元・歳暮カタログ商品開発に取り組んできた。本報告では、これまでのお歳暮カタログ事業の取り組みについて紹介する。

<2010年お歳暮カタログ>

平成20年度から香南市内の農漁業者、飲食店経営者らとともに新商品を食べ比べるなどして協議を重ね、平成22年9月に2010年お歳暮カタログが完成し、11月から販売事業を開始している。カタログには、JAとさかみや地元飲食店など17組織の77商品を掲載し、水晶ブタンやフルーツトマトのほか、旬の野菜・果物を詰め合わせたセット、ちりめんじゃこなど一次産品を中心に、フルーツロールケーキやつがに汁など、今回の取り組みで新たに開発した加工品も取り上げている。このカタログには、絵金蔵、弁天座といった主要観光施設、どろめ祭りなども紹介し、香南市をまるごと売り出す内容となっている。

